

就職内定率100%

昨年度は遂に、
頂に登り詰めました!!



1 昨年度の就職状況及び本年度の取り組みについて

昨年度の就職状況は、地域的には地元の広島県への就職が約63%、それに続いて近畿、岡山県、関東がそれぞれ約6~9%です。業種別では医療・福祉業が約50%、卸売・小売業、サービス業が約22%、それに続いて製造業、教育が約7~9%です。また、金融業へも2.5%が就いています。このように、学んだ専門性を生かし、地元の備後を始め広範囲な地域へ就職していることがわかります。

平成28年以降、経団連が定める大卒採用の指針は、説明会が3年生の3月1日、採用選考が4年生の6月1日の解禁で、正式な内定日は4年生の10月1日以降(9月30日以前の内々定は、学生を拘束しない)となっています。ただ、好景気と人手不足の影響による「売り手市場」と言われる中、特に中小企業等では「採用難」であり、この指針は揺らいでいます。本学では、本年度もこのような状況を踏まえながら、従来どおり教職員が一丸となって、しかも、きめ細かい就職支援を実施し、昨年度同様、就職率100%を目指にして取り組みます。



2 キャリア教育の必要性と本学の取り組み

「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見出していく連なりや積み重ね」のことと指します。そのため、キャリア教育は将来の目標を設定し、その実現のために必要な力を養うことを目的としています。一方で、人生100年時代の「新・社会人基礎力」も提唱されています。そこで、本学の学生には将来の自己実現を目指し、「ありたい姿」を描き、それを果たすために、4年間の大学での学びの中でキャリア形成を系統的に図るためのサポート体制をとっています。狭義のキャリア教育としての就職指導では、これまでの指導の結果が、昨年度の就職率100%実現に現れたものと理解しております。その具体的な中身は、授業では1・2年生で実施するキャリアデザイン入門、キャリアデザインI・IIがあり、3年生のキャリアデザインIIIではインターシップを実施し、企業で就業体験をします。3年生では授業外として「就職ガイダンス」を実施し、就活本番への備えを図っています。



3 学生への期待 ～大学生・大人としての自覚と確かな人生設計を！～

就職課から見える学生の姿は様々です。すでに就活に臨んでいる4年生は、職業選択等の相談や履歴書、エントリーシートの添削、また、面接指導を受けるなど、多様なニーズを持って就職課を積極的に訪ねて来ます。もちろん、指導体制充実のためにキャリアカウンセラーやハローワークからのジョブセンターが、定期的に学生への対応に親身に当たってくださいます。

3年生の多くは、講義室で「就職ガイダンス」の際に出会うのですが、まだ「ありたい姿」が絞り込めていないのか、社会人基礎力に課題を残している状態の学生を何人か見受けます。いま、企業は人物重視、つまり面接試験を一層重視しています。そこで、特に、学内で出会った企業の方や目上の人には、進んで挨拶をしましょう。さらに、キャリア教育をとおして、自分を主体とした、自分だけの人生設計を力強く描き、行動目標につなげましょう。



4 保証人の皆様へのお願い ～学生の主体的行動を、共に支援しましょう！～

1、2年生の一部の学生には、社会についての現実感の希薄さや甘さを感じられます。3年生は、就活開始までに残された時間がもう7ヶ月となりました。特に、これから迎える夏季休暇等の機会に、ご家庭でも進路のことを話題にしていただくとともに、挨拶等のマナーについても、時には厳しくご指導をいただきたいと思います。

また、4年生の保証人の皆様には、就職のミスマッチからの不本意な離職等を避ける意味でも、安易な進路選択に流れないよう、次の各事項について学生と十分話し合い、確認をしていただきたいと思います。

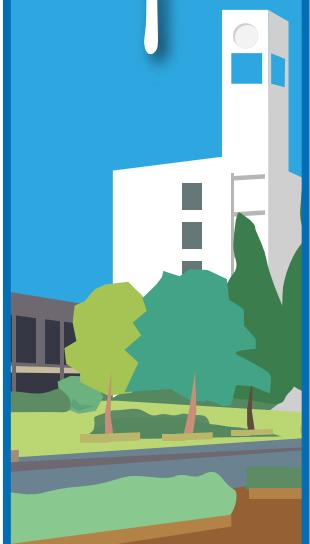
- 人生設計をする中で、生活の基盤を地元に置くのか、又は都市部等に置くのか？
- 選んだ業種や職種は、どれだけ調べ、体験(インターンシップ等)・見学をして決めたのか？
- その会社で働く自分の姿をイメージしたとき、能力・適性からほんとうに実感が持てるか？
- 内定を確実に得るために、自己理解(強み・弱み、持ち味)の上で、履歴書等を作成したか？
- 複数の企業から内定を得たとき、自分は何を大切にしているのか自覚して、絞っているか？
- 進路決定の過程で、周囲(親、先生、就職課、先輩、友人等)の声に十分耳を傾けたか？

一人ひとりの学生が「生きる力」を身に付け、進路を実現するため、学生自身が主体となって行動を起こすような積極的な支援を、大学と保証人の皆様が手を携えて、進めていきたいと考えています。大学も「チーム平成大」として日々取り組んでいます。是非、ご協力をよろしくお願ひいたします。

就職課 参事 能登 正雄



み
ゆ
き
レ
タ
ー



福祉健康学部こども学科10周年記念行事を終えて

福祉健康学部こども学科 永井 純子

今年度、こども学科が開設10周年を迎えるにあたり、去る6月16日(土)に記念行事、記念講演、情報交換会を開催し、保育・教育に関する多数の方々にご臨席を賜りました。

記念行事では、学校法人福山大学鈴木理事長から、「学校法人福山大学としてできることは、こども学科を含めた両大学の魅力をさらり向上させることであり、より多くの高校生に選ばれる進学先となり地域に貢献したい。」と挨拶があり、次いで坪井学長から日頃お世話になつている皆様へ御礼の言葉が述べられました。その後、こども学科永井が「こども学科の変遷と今後の展望」と題し、こども学科の沿革及び概要について説明しました。

記念講演には、東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長仙田満先生をお迎えし、「こどもを育む環境」を演題として、ロバート・フルガムの『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』の言葉を皮切りに「遊びは学びである」とが強調され、「こどもを育む遊び環境」についてご講演頂きました。

また、これまでに手掛けられた魅力的な保育園や幼稚園を多数ご紹介頂きました。日本建築家協会賞を受賞された国際教養大学図書館、そして私たちにとって馴染み深い広島市民球場(マツダスタジアム)も仙田先生の設計によるものです。

情報交換会では、学校法人福山大学清水厚實総長よりご挨拶を頂き、改めて地域の方々、大学関係者の皆様に対する感謝の意が述べられました。次いで、福山市教育委員会の三好雅章教育長、福山市私立保育施設協会の足利義信理事長、福山市私立幼稚園協会出原慎之副会長から祝辞を頂き、福山平成大学田口則良名誉学長の乾杯の音頭のもと開宴となりました。

記念行事には111名、情報交換会には97名の参加者があり、大盛況の中、こども学科開学10周年記念行事、情報交換会が無事終了しました。



▲福山平成大学学長 坪井始



▲学校法人福山大学理事長 鈴木省三



▲東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長 仙田満氏による講演風景

新入生 合宿オリエンテーション報告 Orientation CAMP

経営学科

1年 竹本 晃成



私は新入生合宿オリエンテーションで、ふくやまふれ愛ランドに行ってきました。経営学科の合宿では、初対面の新入生同士や先輩方とでグループを作り、コミュニケーションを取りながら課題解決に取り組むグループワークを行いました。グループワークを通じて、初対面の人に自分のアイ

ディアを分かりやすく伝えることの難しさを実感し、また、言葉遣い等で気を遣うこともあり、大変な面もありました。

うまくコミュニケーションを取ってゆくには、コミュニケーションが上手な人を見つけ、その人の良いところを真似て、それを応用してゆくことが大切だと学びました。また、新生活の中で、バイトやボランティア活動の際、積極的に「初対面」の状態に身を置き、コミュニケーション能力の向上に取り組みたいと思いました。この合宿で、学科の人達と仲良くなれたのは収穫でした。大学生活の中で、さらに友達との仲を深めてゆきたいと思います。

健康スポーツ科学科

1年 中野 雄大



りで疲れそう。」という気持ちがありました。しかし、合宿オリエンテーションではアイスブレイクなど同じ学科の人と打ち解けあえるプログラムが沢山組まれており、自然と仲良くなって話していたり、みんなでお風呂に入ったりなど気づかないうちに友達が増えしていました。初めてあった人同士だとは思えないほど気を使わず気軽に話すことができるようになりました。

合宿オリエンテーションを終え、このようなプログラムを考え、サポートしていただいた先輩方に感謝しています。また、今回参加したことで、私も学生リーダーになりたいと強く思うようになりました。後輩たちの中にも私と同じような思いで合宿オリエンテーションに参加する人がいると思うので、私たちがしていただいたことを後輩たちにもしたいと思いました。そして、合宿オリエンテーションが大学生生活の最初のいい思い出になると嬉しいなと思いました。

看護学科 1年 原野 結菜



私は新入生合宿オリエンテーションで、ふくやまふれ愛ランドに行ってきました。経営学科の合宿では、初対面の新入生同士や先輩方とでグループを作り、コミュニケーションを取りながら課題解決に取り組むグループワークを行いました。グループワークを通じて、初対面の人に自分のアイ

ディアを分かりやすく伝えることの難しさを実感し、また、言葉

福祉学科

1年 楠見 碧衣



入学してすぐに行われた一泊二日の合宿オリエンテーションに参加しました。1日目は新入生と先輩の自己紹介からはじまり、フルーツバスケット、それにお金釣りゲームをしました。グループに分かれて作業することがあったので、自然と協調性が生まれてきました。その後、チーム

に分かれてバレーボールをしました。みんなで声をかけ合いながら楽しむことができました。2日目はドッジボールと飯盒炊飯をしました。ドッジボールではチームワークを発揮してがんばり、飯盒炊飯ではみんなで美味しいカレーライスを作ることができました。

この2日間は、新入生みんなで協力し合うことが多かったため、終わるころには1年生みんなの団結力が生まれていたと思います。先輩とのつながりや学科のみんなとの協力を大切にしながら、これから4年間の大学生活を頑張っていこうと思います。

こども学科

1年 黒瀬 淑蘭



4月6, 7日にツネイシしまなみビレッジでの新入生合宿オリエンテーションに参加しました。参加する前は、友達ができるか、うまくみんなと打ち解けることができるかどうか、とても不安でした。合宿所に着いて、まずお

昼ご飯を食べました。各班で円になり、自己紹介や他愛もない会話をする中で、すっかり不安もなくなり、とても楽しい気持ちになりました。お昼休憩も終わり、いよいよレクリエーションの始まりです。レクリエーションでは、大縄跳びや王様ドッジをして体を動かしました。各班対抗で行ったため、「絶対勝つぞ!」という気持ちでみんなの心が一つになり、絆が深りました。

2日目は、履修登録をしました。先輩のサポートのもと、履修登録がどのようなもので、時間割をどう組んだらいいのかを知ることができました。

この2日間で私は、先輩の後輩に対する思いやりを感じました。先輩は、私たち後輩のことを一番に考えてくださり、優しい声かけやサポートする姿はとてもかっこよく、私もこんな先輩になりたいと思った2日間でした。

話せるようになった友達がまだ一人の中、合宿オリエンテーションを迎えるました。その一人とグループや部屋が違うため、とても不安と緊張でいっぱいでした。しかし、グループの人たちはとても優しく面白くて、すぐに仲良くなることができました。部屋の人たちも気軽に声をかけてくれたので、不安にならなくて良かったです。これから的生活を一緒に頑張ろうと思えました。大縄とフルーツバスケットでは、先輩たちの話の上手さやコミュニケーション力に感動しました。私は大勢の前で司会や何かをしたりすることがとても苦手で、高校時代は少し苦労しました。大勢の前でも笑顔で楽しそうに話している姿を見て、自分もあんな風になりたいと思いました。

また、キャンドルサービスを通して、自分が将来看護師になるための勉強をしにきたことを改めて実感しました。福山市で4年間過ごし、看護師になれるよう頑張ります。

こども学科

子どもを取り巻く環境の急速な変化に対応し、小学校等において、地域に根ざした野外体験活動をリーダーとなって創り出せる理論と実践力を身につける「保育・教育実地研究（野外）」を新設しました。

講義では、小学校の生活科・社会科・理科・特別活動・総合的な学習や、保育園・幼稚園の環境領域において、どのように子どもに寄り添い、どのような出会い・探究・問題解決の場を創り出せば子ども達が地域の自然・文化・人々の魅力や課題と、より深くつながり、豊かに学び、確かに育つのかについて、実際にそのような場で子ども達と関わったり、互いの経験をふりかえって気づきを深め合ったりしています。

今回は、「三次市のはしあら山」のがつこうの協力を得て、子ども達とお茶摘みやお茶づくりをしました。学生達は、お茶畑への道中、子どもの手のひらサイズのオタマジャクシに驚いたり、生き抜くための多様な個性を持つ草花達で遊んだりする中で、子ども達が豊かに学び、確かに育つ、その輝きに目を見張り、何気ない道端も大切な野外体験活動の場であることを実感していました。

楽しさだけでなく、お茶を創り出す大変さ、多くの生き物と人々が織りなす文化的景観の良さ、それらが消滅しつつあることへのもどかしさを体験的に学び、その場づくりのあり方を考えました。



健康スポーツ科学科が開設された当初からグローバル教育の重要性を認識し、専門教育の中に異文化教育を取り入れてきました。その中で、オーストラリアのスポーツ医学協会(SMA : Sports Medicine Australia)と正式に協定を結び、毎年、キャンベラにあるスポーツ科学研究所(AIS : Australian Institute of Sport : オリンピック選手を養成する機関)で研修を受けるプログラムを提供しています。交流事業が10年を経過し、このような取り組みが更に広がってきました。その一つがキャンベラ大学との交流です。キャンベラ大学は、オーストラリア国内のスポーツ医科学分野においてトップクラスの大学でAISと連携を取りながら教育・研究を進めています。こういった同じ学問分野の大学から、毎年7月に本学に学生が訪れ交流を深める取り組みを行っています。キャンベラ大学の学生たちが本学の授業に参加したり、学生と食事をともにしたりと様々な交流があり、当初の目的であつた専門教育を通じて異文化理解を深めるといったことが実践されています。

健康スポーツ科学科 オーストラリアとの国際交流



福祉学科

平成30年度高大連携協定事業

Topics 学科トピックス

経営学科

地元企業の新商品ネーミング企画

私の担当する「マークティング」の授業において、有限会社池口精肉店様のご協力のもと、新商品のネーミング企画に参加させていただきました。これは、同精肉店様が公募されていた新商品（ソーセージカツ）のネーミングについて、この授業を履修している学生たちにも考えてもらうというものです。

5月より約1か月、この授業の中で、この募集企画に取り組んできました。5月22日（火）の授業では、実際に、同精肉店様の池口峻平様（企画室長）をお迎えした特別講義を行いました。ここでは、池口様より、今回のネーミング企画の説明に加えて、経営理念やブランド・マーケティング活動に対する考え方についてお話を伺いすることができました。そして、「なんと!!」ネーミングをする新商品を実際に試食させていたしました。その後、学生たちはグループ毎にネーミング案を考え、翌週の授業ではネーミング提案報告会を行いました。その結果は、提案書として同精肉店様に提出させていただきました。

公募であつたことから、残念ながら実際に採用されたのは学外の方の案でした
が、この授業の中で本学学生が提案した「151（一期一会）」という案が、見事2位に選ばれました。学生からは「直接話を聞くことや、実際に食べることが大切だと思った」「お客様の立場でなく、企業側の視点でモノを見ることがいい経験になりました」などの感想が寄せられ、大変有意義なものとなりました。また機会があれば、このような授業を企画していきたいと思います。

A photograph showing a large group of nursing students in blue uniforms seated at long wooden tables in a classroom. They appear to be engaged in a practical training session, possibly related to food preparation or nutrition, as some students have bowls and spoons. The room has white walls and fluorescent lighting.

看護学科

一日看護大学生体験 プログラムを実施して



福祉学科では、高校生とともに福祉を考える「体験型出張講座」を企画しています。一つ目は「福祉用具・介護食講座」で、福祉用具を手に取り介護食を試食して学びます。5月には戸山高校で出張講座を開きました。高校生にとって、介護食のハンバーグやパン、肉料理を口にしたのは初めての経験だったようです。食事をした後、味や見た



日、触感等を話し合いました。介護食はドロドロしたイメージだったけれど、そうではなかつたことに驚いたといった意見が寄せられました。また、食事を楽しむ環境として大切な「ミニユニケーション」についても取り上げ、「ミニユニケーション型介護ロボットに触れることで、福祉分野で活躍するとロボットを知る機会としました。

一つ目は「災害福祉講座」で、災害時における福祉の視点を学びます。災害時には多くの人が同時に、そして、様々な支援を必要とします。そのときの福祉の役割を、HUG(避難所運営ゲーム)を用いて災害時に起こる出来事を追体験し学んでいきます。9月には神辺高校で実施予定です。

出張講座では、高校生に福祉を身近に感じてもらいつつとも、福祉の幅広い対象を知つてもらうことでも目的としています。福祉学科の教員が高校を訪ね、「ふつうの「くらしの「こと」あつむき」というとともに、福祉の幅広い対象を知つてもらつことを目的としています。福祉学科の教員が

助教
兎内祥子

授 岡部 真智子
講師 杉本 浩章
牛田 篤

■ テーマ

2025年問題を考える

■ 日時 全5回(9月13日、20日、27日、10月4日、11日)
18:30 ~ 20:00

■ 会場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 受講料 無料

2025年というのは、団塊の世代が75歳を超える年を指します。

今後の日本が高齢化に対応するために考え出されるさまざまな問題を、各講師が考え、提言します。

福祉学科の岡部准教授から「高齢期に安心して住み続けられる住まいとは」、経営学科の渡邊講師から「地域マネジメントにおけるマーケティング思考の可能性」、こども学科の西川准教授から「2025年問題」との付き合い方、健康スポーツ科学科の河野講師から「スポーツと“Ikigai”-2025年を受け入れる-」、看護学科の長野准教授から「人生100年時代を見据えた健康づくり」を計画しました。

第1回 9月13日 高齢期に安心して住み続けられる住まいとは

福祉学科 岡部 真智子 准教授

2025年は、高齢者世帯の7割が単身・夫婦のみ世帯となると予想されています。人口減少に伴う過疎化や空き家の増加といった地域が抱える問題も人の住生活に影響を及ぼします。加齢に伴う体力低下や持病、介護と付き合いながら、安心して暮らしていくためには、今の住まいをどう工夫するのか、またどのような住まいを選べばよいのか、今から知っておくことは大切です。自宅に長く住み続けるための工夫、施設や自宅以外のさまざまな住まいの実際、安心して住み続けられる地域とはどのようなところなのか、皆さん一人ひとり答えが違う問い合わせに、具体的な事例を紹介しながら、答えのヒントを見つけていきたいと思います。

第2回 9月20日 地域マネジメントにおけるマーケティング思考の可能性

経営学科 渡邊 正樹 講師

今やマーケティングとは、企業だけのものではありません。マーケティングというと、企業の商品開発や広告に関する話だと思っている方が多いかもしれません。確かに、一昔前まではそうでした。ところが近年、マーケティングが取り扱う領域は、徐々に拡大しつつあります。高齢化や過疎化といった、多くの地域で課題となっている問題に対しても、マーケティング固有の思考法が力を発揮しうることが明らかになっています。例えば、地域をより住みやすいものにするためには、その地域に関わる様々な立場の人達のニーズを把握しなければなりません。あるいは、地域に誇りを持つ住民を増やすためには、その地域が持っている固有の価値を、ヨリモノである他の地域の人達にも理解してもらう必要があるでしょう。この「様々な立場の人達のニーズを捉える」「他者に自らの価値を伝える」というのは、まさにマーケティングという学問が主題としてきたテーマなのです。本講義では、地域のマネジメントにおいて、このようなマーケティング思考が持つ可能性について、皆さんとともに考えてていきます。

第3回 9月27日 「2025年問題」との付き合い方

こども学科 西川 京子 准教授

「2025年問題」というと、少し先のことを感じられるかもしれません。しかし、大学や企業の社員研修を含む教育の世界は、2025年に向けて今この時も着々と変わりつつあります。なぜなら、教育は、一人ひとりの自己実現、すなわち、どのような問題に直面しようとも、人々がそれぞれの持ち味を大事にしながら、その人なりに生き生きとより良い生活や社会を創り出していけるように最終的な目的として營まれているからです。2025年には少子高齢化、グローバル化、情報化が急速に進み、今まで当たり前だった暮らし方や働き方が大きく変わります。そのような社会で、あなた自身や、将来あなたの仕事や遺伝子を継ぐ次世代の子ども達が、どのような資質を身につければより自分らしくより望ましい社会生活を送れるのでしょうか?本講座では、「2025年問題」に向けて、皆さんが教育界や社会の動向を知って、それぞれの生き方、在り方を考える機会を提供します。

第4回 10月4日 スポーツと“Ikigai”-2025年を受け入れる-

健康スポーツ科学科 河野 洋 講師

来る2025年に向け、多くの分野が迫りくる問題に「抗う」ことを模索しています。スポーツ分野でも、医療費の増加や体力低下に抗う手段として様々なアプローチが展開されています。しかし、社会や人々の生き方の変化に抗うことばかりが、将来に求められるスポーツの姿なのでしょうか。一点着目すべきは、貧困の社会でも戦争の時代においても、人類の営みの中には常にスポーツが存在してきたことです。そこからは、スポーツが困難な状況や自身の生を「受け入れる」活動となってきたことが推察されます。

近年、社会や自己を受け入れる生き方のコンセプトとして、世界的に注目されている言葉があります。それが、“Ikigai”(生きがい)です。本講義では2017年に催されたスポーツ系学会での講演内容を引用し、スポーツにみられる“Anti”と“Ikigai”との言説を参考しながら、スポーツを通じて2025年の到来を受け入れることの意味を考えます。

第5回 10月11日 人生100年時代を見据えた健康づくり

看護学科 長野 扶佐美 准教授

2025年問題とは、「団塊の世代が75歳以上になることで起こると予測される様々な問題」を指しています。2025年時点で、国民の3人に1人が65歳以上、さらに5人に1人が75歳以上になると予測されています。高齢者の方が増えれば、必然的に医療や介護のニーズは高まってきます。当然、高齢者の方々やそのご家族は、医療機関や介護施設、在宅など、医療や介護をめぐる状況はどうなっていくのだろうと不安が強くなっています。世界中、どこの国も体験したことのないような状況に、今から私たちは備えなければなりません。安心して老後が過ごせるよう、どのように自分自身の健康を維持するのか、最後まで自宅で住み続けるための地域づくりをするにはどうしたらよいのかを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

平成30年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)採択一覧

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	研 究 内 容	研 究 期 間	付 交 金 額
経 営	教 授	小玉 一樹	基盤研究(C)	雇用形態の多様化が集団及び組織に及ぼす影響に関する研究	平成29年～平成31年度	120万円
〃	〃	市瀬 信子	基盤研究(C)	清朝康乾年間における杭州詩人集団の詩会活動と地方文献編纂に関する研究	平成29年～平成31年度	320万円
福祉健康	准教授	岡部 真智子	基盤研究(C)	地域包括ケアシステム下における高齢者向け居住支援の方策	平成29年～平成31年度	260万円
〃	〃	杉本 浩章	基盤研究(C)	地域包括ケア時代の看取りと専門職間協働	平成29年～平成33年度	340万円
〃	教 授	山崎 洋子	基盤研究(C)	イギリス新教育における「女子・女性教育論」とジェンダーに関する思想史的研究	平成29年～平成31年度	260万円
看 護	講 師	佐竹 潤子	挑戦的萌芽研究	子どもの夜間受診の現状と親の対処能力	平成28年～平成30年度	85万円

■ 平成30年度マナー向上キャンペーン実施報告 ■

平成30年5月22日～5月25日に、学生、教職員のマナーの向上を図るために、学友会、学科選抜学生、サークル、教員、職員が協力してキャンペーンを実施しました。

22日～24日は学内でポケットティッシュとチラシを配付しマナー向上の啓発に努め、最終日は、大学周辺の歩道を清掃しました。

学友会長より趣旨と実施について説明があり、学内の啓発に努めました。



最終日は、学外を清掃をし、地域に貢献しました。



平成30年度 保証人懇談会の開催

福山平成大学では、保証人の皆さんと大学との連携を深め、学修、学生生活及び就職支援の充実を図ることを目的として、「保証人懇談会」を毎年8月下旬～9月上旬に開催しております。

この「保証人懇談会」では、午前中に大学の近況の報告と学生生活、就職等の全般的な説明を行い、午後からは、ご子女の成績票をもとに本学教員との個別懇談を行います。

保証人の皆さんには、ご出席下さいますようお願いいたします。また、この機会が、出席いただいた保証人相互の交流の場にもなれば幸いに存じます。

保証人懇談会開催日程

対象:全学部

	開催日	開催地	会場
地方会場	8月19日(日)	福岡	福岡ガーデンパレス
	8月19日(日)	広島	広島ガーデンパレス
	9月 8日(土)	松江	サンラポーむらくも
	8月19日(日)	松山	ホテルサンルート松山
	9月 3日(月)	沖縄	サザンプラザ海邦
本学会場	8月25日(土)	福山	福山平成大学
	8月26日(日)	福山	福山平成大学



福山平成大学 学長杯争奪競技大会報告

5月15日は、福山平成大学の開学記念日です。この日は、全学休講となるため、毎年、学長杯争奪競技大会が開催されています。

今年も、ソフトボールと、ソフトバレーの競技が行われました。

当日は、ソフトボールには9チーム、ソフトバレーには10チームのエントリーがあり、天候にも恵まれ、暑い中、熱き戦いが繰り広げられました。

競技の結果

ソフトバレー



ソフトボール



平成30年度 サークル活動記録

2018/7/20現在

男子バレーボール部

第87回中国大学バレー ボールリーグ戦春季大会

4/21~5/13 岡山大学津島キャンパス 他

1部2位(9勝1敗) 個人賞 故 関 賞 追田 郭志 (健スポ4)
スパイク賞 西本 圭吾 (健スポ2)
レシーブ賞 小山 敦己 (健スポ4)

第62回中国四国学生バレー ボール選手権大会

5/25~28 岡山大学清水記念体育館 他

準優勝

2018年度 第44回西日本バレー ボール大学男子選手権大会

6/28~7/1 広島県立総合体育館

ベスト8

平成30年度天皇杯・皇后杯全日本バレー ボール選手権大会広島県ラウンド

7/14~15 広島県立総合体育館

優勝 福山平成大学A ※平成30年天皇杯中国ブロックラウンド出場決定
2位 福山平成大学B

女子バレー ボール部

第87回中国大学バレー ボールリーグ戦春季大会

4/21~5/13 岡山大学津島キャンパス 他

1部5位 ※入替戦有り

第62回中国四国学生バレー ボール選手権大会

5/25~28 ノートルダム清心女子大学第一体育館 他

ベスト8

2018年度 第44回西日本バレー ボール大学女子選手権大会

6/27~30 ベイコム総合体育館 他

予選グループ戦敗退

陸上競技部

第57回全日本競歩輪島大会

4/14~15 輪島市マリンタウン競技場

12位 池田 未央 (健スポ2)

第37回愛媛リレーカーニバル

4/29 愛媛県総合運動公園陸上競技場

5000mW 決勝 1着 池田 未央 (健スポ2)

第72回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

5/11~13 高知県立春野総合運動公園陸上競技場

男子 200m 決勝 3位 濱元 大弥 (健スポ4)
決勝 4位 山下 雄大 (健スポ2)
3000mSC 決勝 26位 大崎 倆士朗 (健スポ2)
4x100mR 決勝 7位 藤本 達也 (健スポ4)・山下 雄大 (健スポ2)
大坪 栄也 (健スポ2)・濱元 大弥 (健スポ4)
走高飛 決勝 21位 花屋 佳明 (福祉1)
三段跳 決勝 18位 野口 尚樹 (健スポ3)
砲丸投 決勝 21位 川田 佳次 (健スポ3)
決勝 22位 長野 拓海 (健スポ4)
円盤投 決勝 24位 長野 拓海 (健スポ4)
十種競技 決勝 7位 小豆澤 徹 (健スポ4)
決勝 14位 關内 丈流 (健スポ1)
女子 800m 決勝 5位 林 沙知 (健スポ2)
10000mW 決勝 5位 池田 未央 (健スポ2)
円盤投 決勝 5位 渡邊 彩 (健スポ2)
決勝 12位 井上 美雅 (健スポ3)

第39回中国四国私学大学対校陸上競技選手権大会

6/3 岡山県笠岡陸上競技場

男子 200m 決勝 1位 濱元 大弥 (健スポ4)
決勝 3位 山下 雄大 (健スポ2)
決勝 4位 檜垣 正昭 (健スポ1)
400m 決勝 6位 貢井 大聖 (健スポ2)
800m タイムレース4位 大崎 倆士朗 (健スポ2)
タイマレース6位 三輪 航平 (健スポ1)
タイマレース7位 久保 大地 (健スポ2)
4x100mR 決勝 3位 檜垣 正昭 (健スポ1)・大坪 栄也 (健スポ2)
山下 雄大 (健スポ2)・濱元 大弥 (健スポ4)
走高跳 決勝 4位 花屋 佳明 (福祉1)
走幅跳 決勝 10位 野口 尚樹 (健スポ3)
小豆澤 徹 (健スポ4)
三段跳 決勝 2位 野口 尚樹 (健スポ3)
砲丸投 決勝 8位 川田 佳次 (健スポ3)
決勝 9位 長野 拓海 (健スポ4)
やり投 決勝 7位 水成 昂聖 (健スポ2)
男子総合3位

女子 100m タイムレース1位 戸光 伊緒梨 (子ども2)
800m 決勝 1位 林 沙知 (健スポ2)
400m H 決勝 4位 菊本 佳那 (子ども2)

ソフトテニス部

第40回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会

第62回中国学生ソフトテニス優勝大会

第20回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会

5/2~6 岡山市浦安総合運動公園テニスコート

男子 団体 4位 (3戦2勝)

女子 団体 優勝(5勝0敗)

※平成30年全日本大学ソフトテニス王座決定戦(6/21~24穴生ドーム)出場決定

男子ダブルス 2位 尾崎 元 (健スポ4)・小川 友貴 (健スポ3)ペア

3位 山田 泰誠 (健スポ3)・岡崎 健也 (健スポ4)ペア

女子ダブルス 優勝 多胡 美有紀 (経営4)・足羽 明伊未 (健スポ4)ペア

2位 難波 歩 (健スポ4)・小林 碧唯 (健スポ3)ペア

3位 柴原 香琳 (子ども1)・大田 瑞稀 (看護1)ペア

男子シングルス 2位 高岡 統星 (健スポ2)

3位 小川 友貴 (健スポ3)

第38回全日本大学ソフトテニス王座決定戦

6/21~24 穴生ドーム

女子 団体 予選リーグ戦敗退

女子ダブルス 2回戦敗退

柴原 香琳 (子ども1)・横田 亜季 (健スポ2)ペア

足羽 明伊未 (健スポ4)・大田 瑞稀 (看護1)ペア

女子ダブルス 1回戦敗退

宇治田 芽衣 (健スポ4)・原 萌乃香 (健スポ2)ペア

軟式野球部

第13回中国地区大学軟式野球連盟新人戦

6/16~17 広島市立大学・岡山県立大学

優勝

テニス部

平成30年度春季中国四国学生テニス選手権大会

5/19~27 広島大学テニスコート

男子シングルス ベスト16 熊田 尚登 (健スポ2) ※インカレ予選出場決定

ダブルス ベスト32 石原 侑 (健スポ4)・熊田 尚登 (健スポ2)ペア

女子シングルス ベスト32 小林 琳奈 (健スポ2)

金満 菜々子 (看護2)

堀 友佳 (健スポ3)

ダブルス ベスト8 小林 琳奈 (健スポ2)・金満 菜々子 (看護2)ペア

水泳部

第53回中国四国学生選手権

6/9~10 JAバンクちょきんぎょプール

男子 100m 背泳ぎ 決勝 8位 池田 和輝 (健スポ2)

200m 背泳ぎ 決勝 6位 池田 和輝 (健スポ2)

400m フリーリレー 決勝12位 藤 京雅 (健スポ1)・細川 海斗 (看護2)

400m メドレーリレー 決勝14位 藤 京雅 (健スポ1)・細川 海斗 (健スポ3)

400m メドレーリレー 決勝14位 池田 和輝 (健スポ2)・梅野 史章 (健スポ3)

女子 100m 自由形 決勝 4位 奥山 果歩 (健スポ4)

200m 自由形 決勝 5位 福澤 佳子 (看護4)

100m 背泳ぎ 決勝 4位 木村 美月 (健スポ2)

100m バタフライ 決勝 5位 大塚 汐莉 (健スポ1)

200m フリーリレー 決勝 3位 大塚 汐莉 (健スポ1)・掛谷 優香 (看護4)

200m メドレーリレー 決勝 5位 大塚 汐莉 (健スポ1)・掛谷 優香 (健スポ4)

200m メドレーリレー 決勝 5位 福澤 佳子 (看護4)・奥山 果歩 (健スポ4)

2018年(平成30年)日本室内選手権飛込競技大会

6/13~17 東京辰巳国際水泳場

女子1m飛板飛込競技 優勝 藤原 蒼 (健スポ1)

第49回中国四国学生選手権水泳競技大会

7/7~8 広島市総合屋内プール・ひろしんビッグウェーブ

女子 400m 自由形 1位 福澤 佳子 (看護4)

800m 自由形 1位 福澤 佳子 (看護4)

シグマソサエティ

夏季献血活動

6/19 福山平成大学ピロティ

御幸太鼓部

子守唄の里高屋2018ふれあい祭り

6/23 井原線子守唄の里高屋駅前

学友会執行部

夏季献血活動

6/19 福山平成大学ピロティ

平成29年度 学校法人福山大学財務状況

貸借対照表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	59,378,553,491	固定負債	2,211,909,832
有形固定資産	28,413,451,606	長期借入金	407,070,000
土地	6,885,223,494	退職給与引当金	1,744,965,708
建物	13,838,349,343	長期未払金	59,874,124
構築物	741,035,399	流動負債	2,714,916,863
教育研究用機器備品	2,171,034,546	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	34,156,552	未払金	117,120,801
図書	4,728,838,626	前受金	2,434,215,438
車両	12,830,247	預り金	115,820,624
船舶	1,983,399	負債の部合計	4,926,826,695
特定資産	30,928,303,479		
第2号基金引当特定資産	3,700,000,000		
純資産の部			
退職給与引当特定資産	1,745,016,830	科目	金額
減価償却引当特定資産	15,494,923,708	基本資金	53,398,658,311
校舎建設等引当特定資産	4,575,757,976	第1号基本金	49,291,658,311
創設準備引当特定資産	5,412,604,965	第2号基本金	3,700,000,000
その他の固定資産	36,798,406	第4号基本金	407,000,000
電話加入権	3,048,426	総資産の部合計	60,100,492,154
施設利用権	600		
保証金			
前年度繰越支差額			
保証金	33,479,380		
敷金	270,000		
流动資産	5,648,765,358		
現金預金	5,368,930,001		
未収入金	112,990,377		
有価証券	81,363,520		
前払金	27,849,844		
仮払金	57,631,616		
資産の部合計	65,027,318,849		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

科目の説明	
資産の部	
固定資産	次の何形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両等
特定資産	基本基金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流动資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
長期借入金	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
短期借入金	
未払金	
前受金	
預り金	
負債総額	
正味財産(資産総額-負債総額)	60,100,492,154

財産目録

(平成30年3月31日)(単位:円)

一 資産額	
1. 基本財産	
	32,113,451,606
土地	大学敷地 他 337,887 m ²
建物	大学校舎 他 149,635 m ²
構築物	道路舗装 他 741,035,399
教育研究用機器備品	パソコン 他 2,171,034,546
管理用機器備品	学生寮厨房機器 他 34,156,552
図書	4,728,838,626
車両	12,830,247
船舶	1,983,399
建設仮勘定	0
第2号基金引当特定資産	3,700,000,000
2. 運用財産	32,913,867,243
現金預金	5,368,930,001
退職給与引当特定資産	1,745,016,830
減価償却引当特定資産	15,494,923,708
校舎建設等引当特定資産	4,575,757,976
創設準備引当特定資産	5,412,604,965
電話加入権	3,048,426
施設利用権	600
保証金	33,479,380
敷金	270,000
未収入金	112,990,377
有価証券	81,363,520
前払金	27,849,844
仮払金	57,631,616
資産総額	65,027,318,849

貸借対照表

平成31年度 入学試験日程 AO入試

	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
I期	9月29日(土)	経営	9月22日(土)～9月26日(水)必着	10月5日(金)	10月12日(金)
II期	12月15日(土)	福祉健康	12月3日(月)～12月11日(火)必着	12月20日(木)	12月27日(木)
III期	3月8日(金)		3月2日(土)～3月6日(水)必着	3月14日(木)	3月25日(月)
●エントリーシートの提出	I期 8月1日(水)～9月1日(土) II期 10月9日(火)～11月12日(月) III期 1月7日(月)～2月9日(土)				
●面談結果通知	I期 9月14日(金) II期 11月29日(木) III期 2月25日(月)				

一般選抜試験

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
推薦入試A日程	11月6日(火)・7日(水)	全学部	10月18日(木)～11月1日(木)必着	11月10日(土)	11月22日(木)
推薦入試B日程	12月8日(土)	全学部	11月22日(木)～12月4日(火)消印有効	12月12日(水)	12月20日(木)
前期入試A日程	1月31日(木)・2月1日(金) 2月2日(土)・2月3日(日)	全学部	1月7日(月)～1月25日(金)消印有効	2月9日(土)	2月18日(月)
前期入試B日程	2月20日(水)	全学部	2月5日(火)～2月15日(金)消印有効	2月23日(土)	3月4日(月)
後期入試	3月9日(土)	全学部	2月25日(月)～3月5日(火)消印有効	3月13日(水)	3月25日(月)
センター利用入試(前期)	個別学力試験は課さない	全学部	1月7日(月)～1月25日(金)消印有効	2月9日(土)	2月18日(月)
センター利用入試(後期)	個別学力試験は課さない	全学部	2月25日(月)～3月5日(火)必着	3月13日(水)	3月25日(月)

※備考:平成31年度 大学入試センター試験日程 1/19(土)・1/20(日)



Open Campus オープンキャンパス

本学では、高校生や保護者の方に、学内の施設見学や模擬講義、実習・演習を体験してもらうために、6月23日(土)から見学会および体験入学会を実施しています。「見学会」では、全天候型陸上競技場や人工芝サッカー場を始め、34種47台のマシーンを設置してあるトレーニングルーム、2棟ある体育館、最新設備の整った看護学部棟、平成27年3月に増築したこども学科棟などの施設見学を主に行います。また「体験入学会」では、全体会で入試日程や入試方法の説明が行われた後、各学科に分かれて模擬授業ならびに模擬実習・演習を行います。各学科での模擬実習・演習では、本学学生も参加し、高校生にも分かり易いよう、親切丁寧に指導していきます。なお、オープンキャンパスは、下記の日程で実施されています。

見学会

- 第2回 9月1日(土)
第3回 3月16日(土)



体験入学会

- 第2回 8月18日(土)

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2018年8月1日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>